

JA佐渡

<http://www.ja-sado-niigata.or.jp>



佐渡の伝統／ドウ押し

月布施（両津地区）の毘沙門堂で無病息災などを願って行われる正月行事。ふんどし姿の男性たちが25歳と42歳の厄年の男性を胸上げし、板戸をたたいたり、床を踏みならしてはやしたてる。

写真：佐渡観光協会提供

特集

新春座談会

年頭のごあいさつ

J A 佐渡経営管理委員会

会長 高橋 一五



明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで新しい年をお迎えのことと存じます。

昨年は東日本大震災から原発災害、長野県北部地震、新潟福島豪雨、台風被害等災害の年になってしまいましたが、被災地では新たな出発の年を迎えたことと存じます。

復興支援に組合員の皆さんから多大なご支援をいただきましたことにあらためてお礼申し上げますとともに、今後必要な支援は続けてまいりますのでご協力をお願いします。

6月にFAOのジアス認定、8月には新総代の就任、11月には新佐渡病院が開院しました。米は102の作況指数を実感できない収量ではありませんが、販売は順調に

すすみ12月にはコシヒカリ3,000俵の出荷キャンペーンを展開しました。おけさ柿は数量が平年に比べ少なく、その割に単価が伸びなかったことから、今後の産地維持のため課題を残す年となりました。

一方、全国1,166万人の署名とともにTTP交渉参加絶対阻止運動に取り組みましたが、11月には「参加国との協議に入る」こととなりました。今後、情報開示と国民的議論を求めてまいります。

今年は第6次中期3カ年計画の仕上げの年です。組合員活動の拠点として支店を存置しながら、事業の専門化と効率化による組合員満足度の向上をめざし事業部制を4月から発足させます。新しい体制ですので不十分な点がありましたらご意見をいただきましたく存じます。必要な修正はその都度行ってまいります。

ジアスの推進、「農業所得10%増」の経営体別提案、JA出資農業生産法人、「せいせい葉々きて屋まの」をモデルにする直売、「1人1a1作物」運動など着実な園芸振興に取り組み、新しい佐渡農業を目指した事業展開に取り組みます。「楽しく」「生業としての農業」実現に向けて役職員一体となつて行動します。

よろしくお願いいたします。

謹んで新春のお祝詞を

申し上げます

経営管理委員会会長

高橋 一五

経営管理委員会副会長

齊藤 孝夫

経営管理委員

仲村 昭男

加藤 亘

渡部 嗣郎

榎 清一郎

伊藤 和仁

静岡 勝彦

木村 和彦

平間 俊雄

市橋 悦男

須田 勝洋

甲斐 逸枝

北見 榮二郎

金子 二郎

中川 新次

畠山 一彦

松井 正隆

岡 幸子

中川 保

齋藤 真一郎

渡部 公正

菊池 稔祐

小田 一男

学経・常勤監事

後藤 國臣

監事

中川 宏

山本 純道

酒井 敏行

本間 勇作

本間 旬一

代表理事専務

板垣 徹

代表理事専務

前田 秋晴

常務理事

永井 充

常務理事

菊池 右一

外職員一同

企 特
画 別

新春座談会

新たな年を迎えるにあたり新春企画としてJA佐渡役員と組合員組織代表による新春座談会を開催しました。「佐渡を元気にするために」をテーマに、それぞれの立場から見た佐渡農業の現状と、平成24年の課題について伺いました。

●出席者



経済担当常務理事
菊池 右一



経営管理委員会副会長
齊藤 孝夫



経営管理委員会会長
高橋 一五



女性部本部長
山本 紀美代



青年部委員長
土屋 智徳



生産者部会連携会議議長
水稻部会会長
中川 保

司会：専務理事
前田 秋晴

平成23年を振り返って思うこと

前田(司会) 本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

まずはご出席の皆様から、23年を振り返っていただきます。

高橋 昨年は3月11日の東日本大震災とそれに続く福島原発の災害に始まり、長野北部地震、新潟・福島豪雨、台風被害と日本列島が多くの災害を受けた年でした。組合員の皆様からも支援金(総額350万円)と義損米のご協力をいただき、ありがとうございました。それぞれ被災地にお届けしました。

また、TPP問題について、学習を重ねながら全国1,166万人の署名を集め、反対運動を展開してまいりました。

そのような中、6月には佐渡がジアス(世界農業遺産)の認定を受けました。そして11月

は新佐渡総合病院の開院という良いこともありました。

平成23年を振り返りますと、米の作況指数は102ということでしたけれども、組合員の皆様としては実感できなかったのではないかと思います。販売面では、契約数量に対して3000俵不足ということ。「もう一俵出荷運動」を行って集荷をすめてきました。

おけさ柿については、収量は昨年より増えましたが、単価は下がったということで、農家の収入は昨年より低くなったというのが実態です。

農産物全体に関して、今後も放射能の問題は影響してくると思います。JA佐渡としては独自に放射能測定器を導入して、消費者の皆様へ安全な農産物を届けるために自主検査を行っていますが、現在までに検

出はされていません。

中川 23年末の1等米比率は目標90%以上に対して74%止まりでした。たんばく含有率は平均5.8で大変食味がいいということでしたので、食味だけでも保って、佐渡米が消費者に喜ばれる米でありたいと思っています。「安心・安全」はいうまでもなく、私はやはり良質米ということをモットーとして米作りをしたいと思っています。

おけさ柿はつぼみは多くついて作柄も期待されていると聞いていたんですが、7月の降雨と日照不足で生理落下が多かったということと、9月の台風やアラレの局地的な被害を受けて、昨年に次ぐ少量になりました。販売面でも、価格は昨年と比べて2割ほど安値で推移したということでした。加工品ではあんぽ柿が好評だったと聞いています。

前田 女性部は12月10日に開催された「女性部大会」が大盛況でしたが、そのことも含めて23年度の活動についてお聞かせ

下さい。

山本 23年は佐渡総合病院の新築を記念して、何かイベントをやるとうという発案のもとで、一年間の集大成として女性部大会を開催しました。百都院長先生の講演にも大勢の方に来ていただいて、一定の成果はあったと思います。

女性部はいろいろなイベントに参加していますけれども、そこに作る喜びがあつて、買ってもらえる喜びがあつて、そして自分が丈夫でなければそこに



行つて販売できないという基本的な喜びを味わうために1年間頑張っています。

それと、昨年の東日本大震災の経験から、私たちはいま一度あらためて食べ物の大切さと、それを作る人の苦勞と重要性を見つめ直すべきだと思います。それと、若いお母さんたちに、生産現場を体験するなどして、佐渡の農業に関心を持っていただけたらありがたいなあと思います。それが、私たち女性部がこれから目を向けていくべき若い後継者の育成のために大事な問題だと思っています。

困難な状況の中であらためて協同の力を感じた

齊藤 私も23年はやはり東日本大震災の話題を抜きにしては語れないと思います。

昨年10月にJA出資型農業生産法人の立ち上げの関係で福島県のJA新ふくしまとJA伊達みらいの2つの農協に視察に行つたんですが、福島原発の関

係で伊達みらい特産の桃や柿、あわせて27億円の被害があるということでした。これは大変なことだと思つたんですけれども、そういった中で直売所に行つたときに活気にあふれていたことに驚きました。また、直売所の中に全国からの「負けるな」という応援の手紙がたくさん貼つてあつて、「私たちは負けないんだ」という強い気持ちがいかに伝わってきました。むしろ我々の方が元気をもらつたという思いです。農協という組織が団結すれば、ああいう状況の中でも立ち上がることができるんじゃないかということを感じてきました。

それと、TPPの反対集会にも参加しましたが、これについても非常に農協の力を感じてきました。全国集会和デモに参加して来たんですけれども、組織の枠を超えて、医師会、漁業関係者、消費者団体が加わり、横のつながりがぐっと拡大してきたということ、今までにない集会だったと思います。今回の

ように大きな力に対抗するためには、横のつながりを持って活動していかなければいけないと強く感じました。

12月にはアメリカとFTAを締結した韓国に研修に行きました。経営管理委員会を中心に13名の参加者がありましたが、韓国の農家も今FTAで大変な状況にあります、そんな中で私たちは先進地の農家を2件ほど訪れました。その農家は、いわゆる6次産業ですね、生産・加工・販売を実行している農家で、家



族経営なんですから、ある農家には年間1万人の人が来るし、ある所には2000人くらい来るということでした。私たちが目指すべきこれからの農業の姿を垣間見たような感じがしました。

前田 土屋委員長は、23年の青年部活動を振り返っていかがですか？

土屋 23年度に青年部としてやりたいことは食育ということだったんですけども、実際、本部活動として具体的な取り組みができなかったことが反省点です。次年度の課題として、例えば畑を作って消費者の皆さんと一緒に農作業や収穫体験するような活動ができればいいなと思っています。

全体的な活動としては、6月に新しい中央営農農機センターでのビックフェスティバル、7月に野球大会があって、あとは収穫感謝祭や「ふれあいアツセまつり」に参加させてもらいました。

佐渡を元気にするために

専務 ここまで皆さまから23年を振り返っていただいて、24年度の課題が見えてきたのではないかと思います。そこで、佐渡を元気にするためにどのようなことができるか、それぞれの立場でお話いただきたいと思っています。

高橋 24年はジアスを佐渡ブランドにどう活用していくかということが重要になってくると思います。ジアスに認定されたからといって、佐渡の農産物の価格に直接つながるものではないかもしれません。これをどのように活用して佐渡ブランドを確立していくかにかかってくると思います。ジアスに認定されたということは、今の状況を維持していかなければならないということです。ですから、高齢化・過疎化が進む中で佐渡の農業を維持していくためには、一定のもうかる農業を確立できないと若者は来ません。そこで5月の総代会では

J A出資の農業生産法人を立ち上げて、なんとかもうかる農業のモデルを作り上げていきたいと思っています。

「もうかる農業」というと誤解をうけるかもしれませんが、それはお金がどんどん入ってくるというものではなくて、生業としての農業なんですね。生活できるだけの収入が得られて、そこにプラスαの喜びがあるという。作る楽しみと与える楽しみですね。

それと、24年は中期3カ年計



画の最後の年になりますので、目標に掲げている「農業所得の10%増」について経営体別に提案していきたいと思っています。

もうひとつ、昨年から「1人1a1作物」運動に取り組んでいます。できればこれを5〜10人ぐらいのグループで、同じ作物を同じ資材、同じ栽培方法で作って市場に出していきたいと思っています。これからの佐渡では大規模な産地づくりは難しいですから、1a単位で同じ作物をつくって出荷していくという取り組みをすすめていきます。「**野菜**きて屋まの」という直売所モデルを参考にしながら、できればAコープ併設型の新しい直売所を実現したいと思っています。

山本 女性部活動が行き着く所はやはり「地産地消」ですね。自分たちが生産したものを少しでも多く地元の方に利用していただいて、地域を盛り上げるためには私たちは何を作れるか、何を消費してもらえるかという



ことをテーマに動いています。

あとは、組織的な問題ですが、少しでも若返りを図りながら部員を増やすために、高齢者といわれる部員の方たちが若い世代に経験を伝える機会を、家の光の記事活用運動などを通して実践していきたいと思っています。

それともう一つ、ほほえみ会の存在なんです。活動メンバーが女性部員が主となっている。役員の選出に苦労しているようだし、活動そのものもメンバーが高齢化して大変になっ

てきています。ですから、今後は女性部としてもボランティア活動を考えていく必要があると思います。

前田 地産地消の具体的な取り組みというと、どんなことがありますか？

山本 米粉の料理教室もそうですし、イベントに参加して女性部コーナーで自家野菜や加工品を販売することですね。

中川 やっぱり元気になるという

ことでは、まず収入がないと若い人たちはついてこないと思います。後継者を育てるには何をするかですが、今は農家でも「家のせがれは田んぼに出て来んちゃ」という声もよく聞きます。佐渡農業に元気を取り戻すには、そういった若い人たちが田んぼや畑に入って少しでも手伝って農作物を作ること、農業のことがわかり、いろんな世代の交流にもつながるのではないかと思います。

高橋 収入という面でいえば、耕作放棄地の増加に歯止めをかけるためには大胆な取り組みが

必要です。今の水田活用だって個人個人でやってるから難しいんであって、ある程度地区でまとめてしまえば、機械の利用効率も良くなります。

それともう一つ、農家組合が弱体化していると言われていますが、もう一回集落内でみんなです話し合って、その集落の農業をどうするかということを、みんなで考えるという取り組みが必要だと思っています。

前田 青年部としては食育についてどのように取り組んでいきたいと考えていますか？

土屋 他のJAの事例をみると、次世代に農業の良さを伝える活動として食育に取り組んでいるところも多くて、当たり前活動になってきていますから、そういう点ではJA佐渡はちょっと遅れているんだらうなと思います。この活動にはお金も必要ですが、今後の農業のためには次世代への教育がないと、次世代がみんな島外に出てしまつて農業から離れていつてしまつてからでは遅いので、そ

いう意味では食育に力を入れていきたいと思っています。

J A 出資の農業生産法人設立に向けて

前田 副会長から24年度に取り組むべき重要な課題についてお話し願えますか。

齊藤 24年度はJ A出資の農業生産法人の立ち上げを確実なものにしていかなければならないと思います。もちろん総代会で承認を得なければならぬわけですが、この法人を必ず軌道に乗せなければならぬと強く思っています。農業をやらなくなった農家の受け皿という役割が大きいわけですが、今後若い後継者を育成する場として力を入れていかなければならないと思っています。6次産業化の取り組みも視野に入れ、この法人を通して、佐渡農業の今後に対する農協の考え方を皆様に見ていただくということからも佐渡農業のひとつの目玉になるのではないかと考えています。

前田 「農家取得の確保」という事について具体的な取り組みを菊池常務から話していただきたいと思っています。

菊池

今は日本経済自体が円高等もあって疲弊していますし、特に佐渡島内では企業の雇用が非常に不安定になって職場が無くなっているというのが現状です。そんな中で、やはり、島内の若者に夢を与えられる可能性のあるものは農業しかないのではないかと思います。今後ぜひとも農業所得増大を実

現して、若い世代に農業をやってもらえるようにしていきたいと思っています。

具体的に、ひとつは齊藤副会長がおっしゃったように農業生産法人の設立ということで24年度の総代会で承認を目指しています。

2つ目としては担い手の確保で、そのためには水稲単作では限界があるということで、Aコープ併設型直売所による生産の拡大、園芸作物の振興をしていきます。佐渡には年間20数億円の農畜産物が島外から移入されているわけですので、その生産をどれだけ佐渡でカバーできるかということを考えて時に、やはり市場の活用が大切だろうということでも市場とも連携した園芸振興に取り組みたいと考えています。

齊藤

農業というと、まず先にもうかるかどうかという話になるんですが、実際に農業に携わっている人は、お金以外に楽しみを持ってやっていると思います。例えば、私は今、柿の剪

定作業をしておりますけれども、今朝は果樹園からトキが6羽群れになって飛んで行くのを見ました。収入だけではなくて、時にそういった事に感動を得られたりするんですね。もちろん生活していくための収入は必要ですけども、感動を大切にすることが農業の原点で、若い人たちがそこから自分なりの目標を見つけていくのが農業のあり方だと思いますし、そういうことを若い人たちに理解していただくような取り組みも農協に必要ななと思っています。わた

くしたちは全力を挙げて佐渡農業の振興に努力していきますので、みなさまもそれぞれの組織で努力していただきたいと思います。

前田

今年が自然災害などがなく良い年になるよう祈念し、新春座談会を閉じさせていただきます。

本日はありがとうございます。



農業税務に関するお知らせ

平成23年1月1日からの通帳取引の中で、農業税務に係わる取引の例示をまとめましたので、参考にして下さい。

普 通 貯 金 (兼お借入明細)					仕 訳	
年月日	摘 要	お支払金額	お預り金額	内 容	借方	貸方
23-02-10	米精算金	H21ネンサイシュウセイ	*****	21年産米の最終精算	普通預金	雑収入
23-02-10	農) 雑収入	ツチヅクシイ	*****	土づくり肥料助成金	普通預金	雑収入
23-02-24	申告利用料	1,000	支援システム	農業所得申告支援システム利用料	雑費	普通預金
23-02-24	申告利用料	3,000	22年農家経営	農家経営支援システム利用料	雑費	普通預金
23-03-10	農) 租税	2,000	シコクカイ カ化	22年度JA佐渡農業青色申告会会費	租税公課	普通預金
23-03-14	歳出金	ホクリクノウセイヨク	*****	戸別所得補償モデル対策交付金	普通預金	雑収入
23-04-21	農) 雑収入	佐渡版所得	*****	佐渡版所得補償交付金	普通預金	雑収入
23-05-20	米追加払	H22ネンサン	*****	22年産米の追加払い	普通預金	雑収入
23-06-23	歳出金	ホクリクノウセイヨク	*****	水田経営所得安定対策交付金	普通預金	雑収入
23-06-24	振込	コウフヘンノウキン	*****	水田経営所得安定対策の積立金返還	普通預金	仮払金
23-06-24	農) 雑費	*****	水経事務手数料	水田経営所得安定対策における事務委託手数料	雑費	普通預金
23-06-24	米契約金		2,500	平成23年産米出荷契約金 (2,500円/30kg)	普通預金	前受金
23-07-05	米精算金	H21カコウマイサイシユ	*****	21年産米の加工米最終精算	普通預金	雑収入
23-07-21	振替	*****	ナラシ積立金	水田経営所得安定対策平成24年度積立金	仮払金	普通預金
23-07-21	農済無事		*****	水稻共済無事戻し	普通預金	雑収入
23-07-25	農済水稻	*****		水稻共済掛金	共済掛金	普通預金
23-09-**	J A 米	JA米 コシカ	7,050	コシヒカリ1袋 (30kg) 出荷した米代金 (1等)	普通預金	販売高
23-09-**	米契約金	2,500		米契約金の返納	前受金	普通預金
23-09-**	加工用米	加工用米 コシカ	3,500	加工用米としてコシヒカリ1袋 (30kg) 出荷した米代金 (1等)	普通預金	販売高
23-09-**	屑米代金		2,000	屑米 (25kg) 1袋出荷した販売代金 (袋代込み)	普通預金	販売高
23-09-30	米代金	H22ツイカハライ	*****	22年産追加払い	普通預金	雑収入
23-10-**	米仮払金	カントリーカーバライ	3,800	カントリーへのコシカ出荷分に対する仮払金 (30kg)	普通預金	仮受金

普 通 貯 金 (兼お借入明細)					仕 訳	
年月日	摘 要	お支払金額	お預り金額	内 容	借方	貸方
23-10-20	賦課金	*****		J A 佐渡の賦課金	租税公課	普通預金
23-10-24	防除費	*****		共済組合防除費	農業衛生費	普通預金
22-11-08	加工用米	コンコ	115.4	カントリー出荷の加工用米代金 (1 等/kg)	普通預金	販売高
23-11-09	J A 米		*****	カントリー出荷分の米代金	普通預金	販売高
23-11-09	米仮払金	*****	カントリーカバライ	カントリー仮払金返済	仮受金	普通預金
23-11-09	バラ利用料	*****	カントリー	カントリー利用料	賃借料	普通預金
23-11-22	米代金	H23コマカワタシガク		仮渡金改定に伴う差額入金	普通預金	販売高
23-11-25	本出資	20,000		佐渡病院建築にともなう出資金 (経費にはなりません)	出資金	普通預金
23-12-20 (予定)	歳出金	ホクリクノセイヨク	*****	農業者戸別所得補償対策交付金	普通預金	雑収入
23-12-21	契約金利	*****	23ネンマイシユツカケイヤク	出荷契約金に伴う金利	利子割引料	普通預金
23-12-21 (予定)	農) 雑収入	予約大口奨励金	*****	肥料農薬を一定額以上予約いただいた方への奨励金	普通預金	雑収入
23-12-26 (予定)	柿代金		*****	小木支店柿代金振込	普通預金	販売高※1
23-12-28 (予定)	柿代金		*****	小木支店以外柿代金振込	普通預金	販売高※1

※1 収入－経費の差し引きで入金されますので、収入は収入、経費は経費へ計上します。

農業所得申告支援システムの帳票発送について

平成23年度の農業所得申告支援システムの帳票は、平成24年1月20日頃までにお申し込みの皆様へ発送予定です。

システムを活用した税務申告の研修会日程につきましては、帳票発送時に同封いたしますのでご確認ください。

Web農業簿記システムの稼働について

インターネットのソリマチ(株)ソフトを利用し、J Aの購買や通帳等の取引が自動的に反映された帳簿へ、J A外の取引状況をご自宅で入力し帳簿を作成するシステムが平成24年1月から稼働いたします。

インターネットを利用するため、時間を気にすることなく好きな時間帯に簿記記帳や申告書作成を行うことができるようになります。

詳細につきましては営農企画課（電話：63－3101）までお問い合わせください。

JA佐渡米販売情報

23年産佐渡米販売状況

12月15日現在

コシヒカリ	主食用販売計画(トン)	販売実績		主食用契約率(%)
		数量(トン)	前年同期比(%)	
佐渡地区	16,085	4,939	95	66
新潟一般	110,334	30,451	86	56
魚沼地区	19,306	5,655	99	61
岩船地区	13,670	3,571	69	58

佐渡コシヒカリ販売価格

11月7日より1,000円上げの18,800円で推移しています。(東京着、税別、1等)。(取引価格の一つの目安であり、生産者手取りではありません。また、全量この価格で販売取引されるものではありません。)

県内産コシヒカリ全体として集荷数量は減少しており、不足感が表面化。集荷の積み上げが喫緊の課題となっています。佐渡地区も同様で、集荷数は卸の購入希望数量を大きく下回っています。(表右端は本契約数字。仮契約としては100%を超える状況。)反面、需要の低下や系統以外からの米の出回り等から全国的な過剰基調は依然として変わらない見込みです。販売進捗としては、11月以降やや鈍ってきたものの佐渡は生協や米穀店での販売が堅調で、前年並に推移しています。

まだ不足です。佐渡コシヒカリ

取引先卸からの佐渡米需要に応えられるだけのコシヒカリがまだ不足しています。

今月も「もう1俵運動」の継続として特別集荷を行います。通常出荷米と同単価で仮渡金をお支払いいたしますので、ぜひお声がけください。

<お知らせ>

特別栽培米(5割減減以上)栽培上の留意点

「カスミン粒剤の農薬成分カウントが変更となります。」

育苗時の細菌性病害対策としてご使用いただいているカスミン粒剤は天然由来によるものとして新潟県では成分カウントは無いもの(0)として扱っていますが、全国では(1)成分としてカウントする行政区もあり、販売先への表示統一の意味から**(1)成分としてカウントいたします。**

カスミン剤を使用する場合は成分回数の合計(9成分以内)にご注意ください。

(カスミン(成分名カスガマイシン)を含むすべての農薬が対象です)

細菌性病害対策としてカスミン以外を用いる場合は、生物農薬(0)のエコホープD Jやタフブロックによる種子消毒をお奨めいたします。

1月10日から生産資材店舗が金井地区の中央営農農機センター内へ移転します。

米穀センター

- 住所 金井新保44番地1
(JA佐渡カントリーエレベーター隣接地)
- 営業時間 8:30~17:00
- 営業日 土・日・祝祭日も休まず営業
(12月30日~1月3日は休業)
- 業務 資材販売……肥料・農薬・資材・軽作業機械
相談窓口……園芸・水稻・営農関係申請・申告
- 連絡先 電話:63-3101(代) FAX:63-3110

中央営農
農機センター

JA佐渡
カントリー
エレベーター

平成23年度 新潟県JA共済 小・中学生 交通安全ポスターコンクール 入賞者発表

今年度で第26回目となる「新潟県JA共済 小・中学生交通安全ポスターコンクール」。県内130校の小・中学校から応募された950点の中から入賞作品が発表され、JA佐渡管内から多数の入選者がありましたので、ご紹介します。

●新潟県知事賞

金井小学校2年 長田 晟



●新潟県教育長賞

新穂中学校2年 小田 恵



●新潟県警察本部長・

JA共済連新潟県本部長賞

二宮小学校3年 後藤 葉那



金井小学校4年 谷口 直紀



●JA共済連新潟県本部長賞

金賞

金井小学校1年 石塚 由菜

金井小学校2年 我山 葉琴

金井小学校3年 森 香菜子

銀賞

南中学校1年 中川 美咲
佐和田中学校2年 佐々木琴乃

真野小学校3年 藤原 鼓々

金井小学校4年 筒井 悠介

河崎小学校6年 檜田 千夏

金井中学校2年 安部 葉月

高千中学校3年 金澤 美穂

銅賞

両尾小学校1年 甲斐ほの香

両津吉井小学校1年 甲斐 拓翔

前浜小学校2年 山岸 永愛

新穂中学校2年 樋口いさな

新穂中学校2年 小池 優花

新穂中学校2年 本間 愛理

佳作

金井小学校1年 石塚 由梨

金井小学校2年 黒川 達矢

金井小学校3年 最上 真鈴

団体賞

小学校の部

金井小学校

中学校の部

新穂中学校

田畑から こんにちは

「中山間地の農業を守る」

OKアグリ生産組合 両津支店管内（両尾）

組 合 長	たなか あつし 田中 淳さん	いわま げん たろう 岩間 源太郎さん
副組合長	しらい まこと 白井 一さん	なおと なおと 宇治 直人さん
	かわかみ みつる 川上 充さん	おん だ とも み 恩田 知巳さん



11月4日に両尾地区に設立された「OKアグリ生産組合」の田中淳組合長にお話を伺いました。

Q 組合設立の目的をお聞かせ下さい。
A 両尾地区では、中山間地という地理条件のもとで佐渡市認証米や5割減栽培に取り組むなど、安心・安全でおいしい米作りに努力してきました。しかし、後継者不足や機械化による経費負担の増加などで離農者が増加し、耕作放棄地が目立つようになってきました。そこで、水田の集積や機械の共同購入・利用を推進して、農業生産の効率化と低コスト化を図り、耕作放棄地を無くすことを目的に組合を設立することになりました。

Q 事業内容について教えてください。
A 平成24年度は、水田の受託面積が約12ヘクタールとなっています。また、コスト削減のため、1ヘクタールの直播栽培にも取り組みます。
 機械事業としては、県、市からの補助金を受けて6条植えの田植え機を1台購入予定です。

Q 今後の目標を教えてください。
A 農地集積を進め、5年後には受託面積を21ヘクタールにすることを目標としています。また、若い担い手にも組合に加入してもらいたいと思っています。

なの
場

ぼくらの作品

平成23年度(第36回)「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール入賞作品より

●図画部門

優秀賞 新潟日報賞

金井小学校6年 杉山 翔太さん



●図画部門

優秀賞 NHK新潟放送局長賞

金井小学校4年 金田 菖さん





「カイロプラクティック を広めたい」

昨年7月から、カイロプラクティックの施術院を自宅で開いています。「カイロプラクティック」とは、体のゆがみを整え、生活習慣を見直して健康で痛まない体づくりを目的としたものです。お客様が「調子が良くなった」と喜ぶ姿を見るとうれしくなります。佐渡ではまだ認知度は低いですが、月1回アミューズメント佐渡で教室を開くなどしていますので、興味のある方はぜひ一度ご連絡ください。

【電話】
090-9238-9769

今月の さわやかくん



畑野支店管内（目黒町）
なかがわ やすお
中川 泰雄さん

みんな 広



両津支店管内（下久知）

菊池 ノブさん (79)

「手芸に いきいき人生 じっくり取り組みたい」

菊池さんは、小学校の先生を退職後、知人から「野菜のことをいろいろ教えてくれるから」と誘われて女性部に参加して以来、さまざまな活動に参加されています。12月10日に行われた女性部大会・活動発表会では、趣味の組み紐で作った携帯ストラップやブローチなどの小物を出品しました。菊池さんは「冬場は手芸にじっくり取り組みたいです」と話しています。

野菜作りでは、河崎委託店の直売コーナーに出荷しており、昨年は初めて作った白ナスと長ナスが好評だったとのこと。

健康の秘訣は「毎晩お風呂の湯船の中で指の運動と足のストレッチをすること」だそうです。

アイドル 今月の愛撮る!!



佐和田支店管内（上長木）

いけだ みい なちゃん（5歳）
池田 美日奈
み はね ちゃん（4歳）
美羽音
み り あ ちゃん（1歳）
美里空

お父さん 吉勝さん お母さん 真由美さん

かけっこや自転車が大好きな美日奈ちゃん。美羽音ちゃん・美里亜ちゃんはお姉ちゃんと一緒に家ごっこなどをして遊ぶのが大好きです。秋から冬はお庭の大好きなおいしいみかんを穫って食べる季節だそうです。

「農業情勢と総代の役割をテーマに総代研修会開催」

11月26日、金井コミュニティセンターを会場に総代研修会を開催し、8月に就任した新総代約300人が出席しました。

「地域農業とJAを取り巻く情勢と総代の役割」をテーマにJA新潟中央会の高橋常務理事、板垣理事長から説明が行われました。

その後、農産物物流コンサルタントの山本謙治さんによる記念講演「日本の食は安すぎる」TPPやグローバル化に対応するために」が行われました。



8月に就任した新総代約300人が出席した

佐渡産しいたけの品質向上をめざして島内研修会を開催

JA佐渡食育部会は11月28日、赤泊地区を会場に冬季島内研修会を行い、部会、JA佐渡から約20人が出席しました。

現地研修会では、永橋研一部会長と伊藤昌彦さんのほだ場を視察し、森産業㈱の中野課長からほだ木の管理等について説明を受けました。

後半の研修会では、日椎連の担当者から23年度乾燥椎茸の生産・販売状況について説明を受け、他産地の状況なども確認しました。



赤泊地区のほだ場で現地研修を行った

佐渡産りんご(ふじ)果実品評会で藤原忍さんが最優秀賞

11月29日、Aコープ金井店で佐渡産りんご(ふじ)果実品評会の表彰式が開催され、最優秀賞に選ばれた藤原忍さん(真野)、優秀賞の柴原豊昭さん(真野)と藤原嘉明さん(畑野)に倶楽部長の須田勝洋さんから賞状が手渡されました。

須田さんは「今年度は気候の影響で生育が遅れましたが、昨年より糖度が高く、食味が非常に良い。ぜひ皆様に佐渡産りんごを食べていただきたい」と話していました。



賞状を受け取る藤原忍さん(代理出席・柴原寿美さん)

佐渡いちご生産振興大会開催「フレッシュいちご倶楽部」

佐渡農業振興連絡協議会園芸振興会野菜部会は12月13日、JA佐渡本店を会場に「佐渡産いちご生産振興大会」を開き、生産者、全農にいがた、新印佐渡中央青果、普及センター、JA佐渡等から約20人が出席しました。

栽培管理や販売情勢についての報告・講演後、生産者の笠井博之さんが「平成23年いちご栽培をかえりみて」と題し、高品質ないちご栽培のために実践していることなどを話しました。



高品質ないちご栽培の実践について発表する笠井博之さん

加茂出張所でJA佐渡職員による絵手紙展示会

12月1日～30日の期間、加茂出張所1階ロビーに絵手紙が展示されました。

来店されるお客様に楽しんでいただきたいと展示されたのは、加茂出張所・本店職員が、7月から11月にかけて3回開催した絵手紙教室の成果として作成した50点余りの作品。

JAの窓口に色鮮やかな花などが少なくなる冬の時期に、温かみのある絵手紙が彩りを添えていました。



50点余りの作品が展示されました

新潟厚生連
佐渡総合病院からの

医療のお話

「声のかすれ」



耳鼻咽喉科 医長

太田 久幸

のど（喉頭）には2本の声帯というやわらかい弦のような部分があります。この声帯同士がこすれてふるえることで声を出しています。声のかすれは、声帯の形や動きに変化が生じることで起こることが多いです。声のかすれを起こす主な病気についてご説明します。

【急性咽喉炎】

のどのウイルスや細菌による感染が原因で咽喉に炎症がおきる病気です。一時的なものであり、炎症に対する内服・吸入の治療で改善します。

【声帯ポリプ・結節】

声をよく使う職業や、小児によくみられます。のどの安静や内服・吸入薬でよくなることが多いですが、それでも改善しない場合は手術を行います。

【喉頭癌】

特に、50歳以降の男性喫煙者で多

くみられます。早期であれば放射線治療・化学療法で治療可能ですが、進行した場合にはのどを取る手術（喉頭全摘術）が必要になり、声が出せない状態になることもあります。早期発見、早期治療が重要です。

【声帯麻痺（反回神経麻痺）】

声帯を動かす反回神経に麻痺が生じることで、発症します。麻痺の原因としては、頸部疾患、甲状腺疾患、食道疾患、胸部疾患などが考えられ、それらに対する治療を行います。

【声帯萎縮】

高齢者の場合は、加齢により声帯が萎縮する声帯萎縮が多くみられます。薬での改善は難しく、手術で治ることもあります。できる施設に限られています。

【その他】

生まれつきの奇形や、心因性の発声障害などがあります。

はつらつ女性部

〓両津支部の活動〓

昨年10月19日、両津支部は1日研修旅行を行いました。午前は女性部活動発表会で披露する「お面」を作りました。大きな顔、リリしい、たくましい、ごつつい、かわいい、それぞれ個性ある顔ができあがりました。

午後は新築した佐渡総合病院の内覧会に参加。「広い」「明るい」「迷子になりそう」などと歓声があがり、驚きました。

12月10日はアミューズメント佐渡で開催された女性部大会に参加しました。佐渡総合病院の百都院長の記念講演をお聞きして、内覧会で見学した病院が目に見え、感動しました。

午後からの活動発表会には、自分たちが作ったお面

を着けて「相撲甚句」で出演しました。最初は恥ずかしかったのですが、だんだん大胆になり、お相撲さんになりきって四股をふむ所を見ていただきました。

1月は冬期研修で作品づくりをします。皆様も女性部に入っているいろいろな事に挑戦してみませんか！

両津支部

松田 光子



女性部活動発表会に「相撲甚句」で出演

第26回家の光童話賞佳作受賞作 「タンタン村のタヌ吉屋」

作・石川 克実

一本の道が岬の灯台まで続いています。その道のとちゅうに、タンタン村があります。タンタン村は、お年寄り、タヌキの多い村です。

そんなタンタン村に、今年も春がやってきました。タンポポやオオイヌノフグリがキラキラとかがやき、風はほおをなで、人々の心を楽ししく元気にします。

ところが、今年のタンタン村の春は、どこか変です。村の道を行き来する村人に元気がありません。

タヌキのタヌ吉は、村のしずけさが少し心配になってきました。そこで、ひるまはあまり近づかない村の中心まで来てみました。でも、一人の村人のすがたも見あたりません。ついこの間までは、「このいたずらタヌキめ！」

と、タヌ吉たちを追いまわした村の人は、どうしたのでしょうか。人のけはいが感じられないので、少しだいたんになったタヌ吉は家に近づいてみました。何軒かの家をまわり、ようすをさぐってみましたが、ひっそりとして人がいるのやらないのやらさえも分かりません。

いつもこわい孫作じいさんの家に近づいたとき、ようやく人の

話し声を聞き、ほっとしました。耳をすますと、

「村にたった一人の子どもだったもんな」

と孫作の声。

「中学校は町の学校にと前から言うつつたが、おらんようになるとさみしいもんだの」

「それに、小さな店だったが、その店までのうなつてしもうた」孫作ととなりのトキバあさんが、えんがわでお茶をすすりながら話していました。村の分校を卒業して、町の中学校に進学した久美ちゃんのことを話しているようです。久美ちゃんは、村で小さな店を開いていたハツバあさんとくらしていたのですが、町の父さんの所へ二人で行ってしまったのです。

子どもとお店と学校がなくなった村は、すっかり元気がなくなっていました。タヌ吉たちを見ても、おいはらう人さえいません。何だかタヌ吉たちも元気がなくなりました。

タヌ吉は、これは一大事と考え、仲間を集め「村をどうするか」について何日も何日もそうだんをしました。

そして、何日か後に村人の家一軒一軒に手紙がくばられてきました。そこには「小さな店を作ります。売りたい物をタヌ吉屋まで持ってきてください」と書いてありました。

村人たちは、ふしぎに思いましたが、お店ができることはうれしいし、作った物売ることもできると喜びました。

開店の日には、待ちかねていた村人が、それぞれやさいや魚、さんさい、わらざいく、ほしたキノコ、たけざいく、など持って

タヌ吉屋の前に集まってきました。

タヌ吉屋は、ハツバあさんの店だったところです。しかし、店の中をのぞいてみると品物をならべる台の上には何もありません。村人は（タヌ吉屋と言うくらいだから、タヌキにだまされたかな）と少し心配になってきました。そうこうしているうちに、開店の時間になり、戸がするすると開きました。しかし、店の中には何もありません。ただ一枚の紙が台の前にはってありました。そこには、

「みなさんがお持ちになった品物にねだんをつけて台の上にならべましょう」と書いてありました。村人は品物にねだんをつけて台の上にならべました。小さなお店ができました。

「あれ、なんとかわいい店」

の声に、どこからともなく、わらい声がおこりました。村人は久しぶりにお店で買い物ができ、にこにこ顔で帰って行きました。

次の日に、店に集まった村人の数は少しふえました。そして、店にならぶ品物も少し多くなりました。次の日は、さらに多くなりました。こうして店はすっかり村人のお気に入りのお店となったのです。

そんなある日、「かんばんを見た」といって見なれない客がやってきました。そこには、「この先のタヌ吉屋で、だまされてみませんか」と書いてあったそうです。岬へ遊びに来た人たちが、「おもしろそうだからひとつだまされてみるかな」ということで、買い物によったのです。

「買ったこのジャガイモは、家へ帰るまでに石ころになるかも」「わたしたちも、店にならべる物を持つてくるかな」など、楽しそうに話しています。

タヌ吉は、うれしくなり草原からつい顔を出してしまいました。それを見つけた孫作は、

「このいたずらタヌキめ」

と、久しぶりに大声でどなりました。

タヌ吉は、びっくりして思わず首をちぢめていちもくさんになげ出しました。でも、顔は思わず笑ってしまいました。

「家の光童話賞」とは

家の光協会が、読書推進活動の一環として主催する文学賞。

就学前の子どもを対象として、子どもたちが自分で読んでも
楽しめ、読み聞かせても喜ぶような内容の作品を募集し、優秀
作品は『家の光』に掲載される。

石川克実さんプロフィール

昭和23年6月24日生まれ（63才）

佐渡市徳和在住

「タンタン村のタヌ吉屋」は初めて書いた作品。1回目の応募にして入賞の快挙を成し遂げました。

お知らせ

冬季地域座談会開催

J A 佐渡では冬季地域座談会を開催し、組合員の皆様から経営・事業に対するご意見・ご要望を伺います。

★期日・場所

1月23日～2月中旬

各地域の集会場等

詳しい日程は、各支店農家組合長を通じてご案内致します。

J A ローン・ サンデー相談会開催

J A では住宅の新築・増改築、住宅ローンの借換相談の他、マイカー・農機具の購入等あらゆる借入に関するローン相談会を開催いたしますので、お気軽にご相談ください。

★開催日

1月15日(日)
午前9時～午後3時

★開催支店

佐和田支店・本店

医療シンポジウム テレビ放映のお知らせ

11月26日に開催されたシンポジウム『佐渡の医療 現在、これから』が左記の日程でテレビ放映されます。

★放送日

1月21日(土)・22日(日)

★時間

午前8時～、午後3時～、午後10時～

★チャンネル

デジタル112ch(CNSテレビ)

J A 佐渡総合ポイント会員の みなさまへ

●ポイントカードを複数お持ちの方

J A 佐渡総合ポイント制度では、同一名義で複数のポイントカードをお持ちの場合、ポイントが分散して貯まることとなりますので、ご了承ください。

なお、ポイントカード統一のお申込みは J A 佐渡各支店・出張所窓口で受け付けています。

●「農協太郎」名義の方へ

A コープ店等に備え付けのポイント端末機(kiosk 端末)でカードを読み込んだ際に、会員名が「農協太郎」と表示される場合は、会員情報が未登録となっています。

このようなカードをお持ちの方は、最寄の A コープ店もしくは J A 佐渡各支店・出張所窓口にお申し出ください。

●J A ポイントネットサービス会員登録中

「J A ポイントネットサービス」ホームページで会員登録をしていた

だくと、ポイント残高照会&ポイント利用申込みが24時間インターネットで行えます。



<http://www.ja-point.net/>

J A ポイントネット

検索

【総合ポイントカードに関するお問い合わせ先】

J A 佐渡 企画総務部 企画課
(電話 27-6161)

受付時間

月曜～金曜
午前8時30分～午後5時

11月末 J A の概況

組合員数	15,317人
(内正組合員数)	(9,712人)
(内准組合員数)	(5,605人)
貯金	1,091億8,010万円
貸出金	190億4,854万円
共済保有高(保障)	4,824億 423万円
購買品供給高	42億 375万円
販売品販売高	42億2,403万円

経営管理委員会だより

11月22日開催の主な協議事項

- ①平成24年度事業計画基本方針について
- ②J A 佐渡役員報酬等審議委員会の委嘱について
- ③外部出資の出えん処理について

理事会だより

11月22日開催の主な協議事項

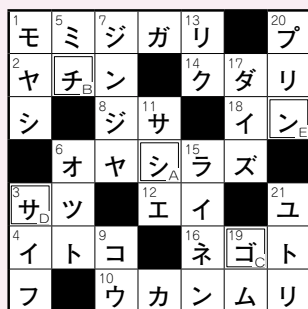
- ①松ヶ崎給油所改修工事に伴う固定資産取得について
- ②年末賞与の支給について
- ③出資口数の減口について
- ④一般貸出について
- ⑤不良債権の処理方針について
- ⑥贈与による土地の取得について
- ⑦休業及び営業時間の一部変更について



【訂正】12月号5ページ掲載の年金友の会の会員数について誤りがありました。正しくは8,034人となります。訂正してお詫びいたします。

★ 11 月号の答え

シチゴサン



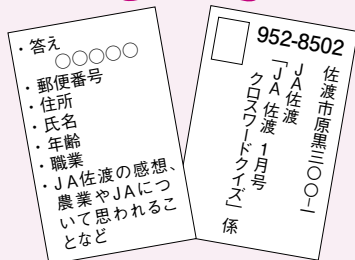
11 月号の当選者

後藤美穂子さん／須田 義雄さん／渡辺 シズ子さん

松田 育洋さん／計良 幸子さん

皆様にご記入いただいた個人情報につきましては、当広報誌に利用する以外使用いたしません。

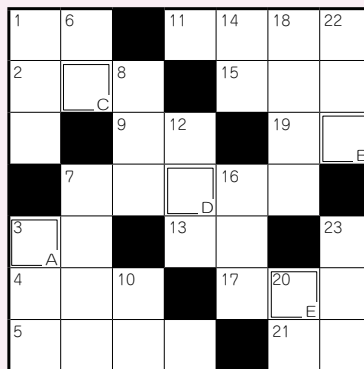
応募方法



【締め切り 1 月 20 日(金)消印有効】

※正解者の中から抽選で 5 名の方に JA 商品券を差し上げます。
当選発表は 3 月号誌面。

クロスワードに挑戦!!



【解き方】
クロスワードを解いて A～E の二重ワクの文字を並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

タテの力ギ

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ① マガモを改良した家畜 | ④ 液体をこして固体とわけます |
| ③ 牛や馬に食べさせます | ⑥ 風邪の予防にガラガラガラ |
| ⑥ 派手の反対語 | ⑧ 成人式で多くの女性が着ま |
| ⑦ 濡れた手を拭いたり汗をぬぐったり | ⑩ 三人寄れば文殊の—— |
| ⑧ 寒い日はこれから出るのがつらい | ⑫ 元日に——状が届いた |
| ⑩ 生物や化学を学びます | ⑬ 職場は主にこれをする場所 |
| ⑫ 「ABC」ではなく「abc」の方 | |

ヨコの力ギ

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| ① 舌で感じ取ります | ⑩ ベリーが乗って来ました |
| ② 邪馬台国を治めた女王 | ⑫ 手前みそと似た意味の—— |
| ③ ——の入りは例年 1 月 5 ～ 6 日ごろ | ⑬ 自費 |
| ④ 船が停泊するときに下ろします | ⑮ せき止めに良いといわれる |
| ⑤ 世界で一番小さな国 | ⑯ よい香りの果物 |
| ⑦ 元日の神社や寺が混雑する理由 | ⑰ 赤くて甘酸っぱい果物 |
| ⑨ 空に挙げて遊びます | ⑱ 性氏の一つ 馬子や入鹿が有名 |
| | ⑲ 有名 |
| | ⑳ 平成 24 年は辰(たつ)です |

エコープマーク推奨品

エコープ

トイレトーパー (ダブル)

左下のクーポン券を切り取って、お近くの A コープ店にご持参ください。対象商品の特典価格にてご提供いたします。



☆対象商品
「エコープ トイレトーパー (ダブル)」
☆規格 12 ロール
☆特典価格 (税込)
3 4 8 円 (当店定価 4 4 8 円)
☆ご利用期間
平成 24 年 1 月 2 日～1 月 31 日

エコープの得する情報

今月のレシピ

あっさりおいしい鍋特集

JAエコープ佐渡
取締役部長 菊池 美晴

豆乳鍋

材料 (4 人分)

絹ごし豆腐	半丁
水菜	1 束 (150 g)
エリンギ	4 本
豆乳 (無調整)	2 カップ
水	2 カップ
昆布	10 cm
塩	大さじ 1 / 2
削り節	適量
しょうゆ	適量

作り方

- ① 水菜は根元を切り落として 3 ～ 4 cm 幅に切る。エリンギは半分の長さに切ってくし切りにする。
 - ② A を土鍋に入れて中火で煮立て、1 ～ 2 分したら昆布を取り出し、豆乳を入れる。
 - ③ 水気を切った絹ごし豆腐を中央に大きいまま入れ、エリンギを周囲に入れて中火で煮る。煮立つ直前に弱火にして、豆腐がゆらゆらするくらいの火加減に保つ。
 - ④ 水菜を加え、しんなりしたら出来上がり。
 - ⑤ 取り皿にとりわけ、しょうゆ、削り節をかけて食べる。
- ★煮立ってくると表面に湯葉ができるのも楽しみのひとつ。すくい取って水菜といっしょに食べるとおいしいですよ！

きりとりせん
エコープ推奨品クーポン券
(348 円)
※クーポン券 1 枚で 1 品限り。
ご利用期間
平成 24 年 1 月 2 日
～1 月 31 日

食べて み～っちゃ



女性部金井支部



変わりばんぼら焼き ～米粉とそば粉のホットケーキ～

材 料 (直径10cm× 8枚分)

米粉	100 g
そば粉	100 g
ベーキングパウダー	小さじ2
卵	1 個
牛乳	合わせて1.5カップ分
つぶあん (市販のもの)	250 g
バター	小さじ1

作り方

1. 米粉、そば粉にベーキングパウダーを入れて、ふるいにかける。
2. 卵を割りほぐし、牛乳を加えて1.5カップの分量になるようにする。
3. 1に2を入れ、ダマができないようによく混ぜる。
4. つぶあんを加えてさらに混ぜる。
※つぶあんの硬さによって、生地が硬すぎるときは牛乳を少しずつ加える。
5. ホットプレートまたはフライパンで両面を焼く。
6. 器に盛り、バターを添えて出来上がり。



そば粉の栄養

そば粉は、ビタミン・ミネラル・たんぱく質などの栄養を豊富に含んでいます。

そば粉に多く含まれる「ルチン」には高血圧や動脈硬化の予防に効果があります。ビタミンCと一緒に摂取すると効果が強まるといわれています。

他にも鉄、カリウム、マグネシウムなどのミネラルもたくさん含まれています。

日本の食と農業の未来を守るために TPP 反対